

群馬の土地改良

No.256 令和4年2月1日



新年のご挨拶

群馬県土地改良事業団体連合会会長 熊川 栄

新年あけましておめでとうございます。

会員並びに関係者の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

平素より当会の業務運営に格段のご高配を賜りますとともに、農業農村整備事業の推進に多大なるご尽力とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

はじめに、第43回全国土地改良大会群馬大会は、コロナ禍の影響により1年延期し、昨年10月6日に全国各地を結ぶ初のオンライン開催にて無事終えることが出来ました。大会テーマの「鶴舞う形 群馬の大地 水・土・里の未来へ ここから羽ばたいて」のように全国の関係者が新しい時代の土地改良へ向け進んでいく契機となりますようお願いのほどであります。本大会にご来賓としてご出席を賜りました皆様、並びに全国各地からオンラインにより参加頂きました皆様には、多大なるご支援・ご協力を頂きまして心から感謝申し上げます。

皆様ご承知のとおり、世界中で新型コロナウイルス感染症の新たな変異株「オミクロン株」の感染が急拡大しており予断を許さない状況にあります。当会も感染対策をはかりながら業務に取り組んでいる状況です。早期の終息を切に願っているところであります。

さて近年は、人口減少や高齢化による担い手不足が顕著な農山漁村地域において、若者にとって魅力ある生業としての農林水産業の成長産業化を通じた人材確保や、高収益化のための需要に応じた生産を可能とする生産基盤の整備が重要であると考えております。

国では昨年3月に新たな「土地改良長期計画」及び5月に策定された「みどりの食料システム戦略」の実現に向け、農業を魅力ある産業として次世代に継承していくための施策を推進しております。

こうした情勢のなか、国の令和4年度農業農村整備関係予算は、令和3年度の補正予算を合わせて、本年度同様の6,300億円が概算決定されました。

県におかれましても「群馬県農業農村整備計画2020」に基づき、地域の要望に対応した計画的な事業推進が展開されているところであります。

水土里ネット群馬は、国や県の施策に呼応し、関係機関と連携を図りながら本県の農業・農村の持続的発展を実現するために役職員一丸となり努力して参りますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆様にとりまして実り多き年となりますよう、ご健勝とご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会会長 二階 俊博

令和4年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が世界各国で拡大する中で、新しい年を迎えることとなりました。我が国では、ワクチン接種が進み感染者数は減少しているものの、世界的には変異株の感染が拡大し予断を許さない状況が続いております。

皆様には、感染防止のためにできることを今一度ご確認いただき、コロナ禍を共に乗り越えて頂きたいと願っております。

さて、昨年3月に新たな土地改良長期計画が策定され、3つの政策課題に取り組むこととされました。生産基盤の強化による農業の成長産業化、多様な人が住み続けられる農村の振興、農業・農村の強靱化といった政策課題に対して具体の施策が定められ、中でもスマート農業実装の加速化、ため池の防災対策の集中的かつ計画的な推進、流域治水の推進は、今後の農業農村整備を進める上で大事な要素となってくるものです。

令和4年度予算につきましては、これらの政策課題の解決に向け、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案において、4,468億円を確保することができました。この結果、令和3年度の補正予算を含めると6,300億円となります。

皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

一方、第五次男女共同参画基本計画に続き土地改良長期計画においても土地改良区等の女性理事登用が成果目標とされたところであり、我々、土地改良団体においても将来の組織体制強化のためにも、女性参画を進めていかなければなりません。

私たち土地改良に携わる者としては、政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におき農業農村の振興に積極的に貢献していくことが重要であると考えております。また、農業農村の維持、発展に大きく貢献していることについて広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力も必要であります。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう引き続き奮闘して参りたいと思います。

また、土地改良の代表として進藤金日子参議院議員と宮崎雅夫参議院議員が元気に全国を飛び回り、まさに「車の両輪」となって活躍されています。本年は進藤さんの2回目の闘いとなりますが、今後は、進藤さん、宮崎さんの活動と連携して、更に一層「闘う土地改良」の浸透が図られるよう念じております。

最後になりますが、輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様各々の地域において更に農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、新型コロナウイルスの不安が払拭され、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。



新年知事あいさつ

群馬県知事 山本 一太

明けましておめでとうございます。

群馬県土地改良事業団体連合会の会員の皆さまには、心新たに輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃から本県農業・農村の振興発展はもとより、県政全般にわたりご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去年は、新型コロナウイルス感染症から県民の皆さまの命と健康を守るため、保健所や医療提供体制の強化をはじめ、県営大規模ワクチン接種センターをいち早く立ち上げ、各市町村とも連携し全国トップクラスのスピードでワクチン接種を進めるなど、さまざまな対策に全力で取り組んでまいりました。

さらに、全国に先駆けて「ぐんまワクチン手帳」を活用した県内の旅行促進策「愛郷ぐんまプロジェクト」や飲食店等への応援のためのプレミアム食事券を販売するなど、地域経済の早期回復に向けた対策にもスピード感を持って対応してきました。

コロナ対策は長期戦となります。引き続き、県民ならびに事業者の皆さまのご理解とご協力をいただき、力を合わせ、感染防止と地域経済を回していくという、この2つを両立できるよう、油断することなく、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。

本年は、新・総合計画ビジョンで掲げた20年後の本県が目指す姿「すべての県民が、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる社会」を実現するための取り組みをさらに加速させ、新たなチャレンジの年にしていきたいと考えています。

新たな時代を切り拓く「始動人」を育成し、群馬ならではの新しい学びを推進する教育イノベーション、災害やパンデミックに強い群馬の構築に注力していきます。また、スポーツや文化芸術による地域振興、地域資源を生かした観光、ぐんま暮らしのブランド化や外国籍の県民の皆さまとの共生・共創などさまざまな課題に取り組めます。さらには、県民の皆さまの利便性を高め、地域が直面している問題を解決するため、デジタル化の取り組みを加速化していきます。

今後も、県民の皆さまの命と健康、暮らし、経済を守ると同時に、心豊かな生活によって誇りと幸福感を持てるよう全力疾走で取り組んでまいります。

新しい年が、会員の皆さまにとって、実り多き素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

令和4年1月



新年のご挨拶

群馬県農政部長 角田 淑江

新年明けましておめでとうございます。

群馬県土地改良事業団体連合会の会員のかみなまにかかれましては、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、平素より群馬県農政の推進にあたりまして、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の10月には、Gメッセ群馬で第43回全国土地改良大会群馬大会が地元会場、東京会場、次期開催県の沖縄会場と全国各地をオンラインで結び開催され、3,000人以上の関係者が参加、視聴されました。新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期となり、さらには、初のオンライン開催となりましたが、「新しい時代の土地改良」を十分に発信する場となりましたことを、心からお祝い申し上げます。

さて、去年は、幸いに豪雨による農地、農業用施設の被害が少ない年でしたが、近年の頻発する自然災害に対しては、日頃から防災・減災対策への備えが重要であるとともに、家畜伝染病の防疫措置についても、日頃の訓練を活かし、迅速な対応ができるよう備えておくことが重要であると、改めて認識した一年でした。

農業・農村を取り巻く環境は、農業者の高齢化や減少、グローバル化の進展、コロナ禍における需要の減少など、多くの課題に直面しています。

こうした中、県では県農政の基本指針である「群馬県農業農村振興計画」を昨年からスタートしており、現状の課題に対応すべく、農業生産基盤の強化、自然災害などリスクへの対応強化、ゆとりと豊かな歴史的・文化的な魅力を有する農村空間を活かした農泊の推進等、農業農村振興の各施策を展開することで、基本目標である「未来に紡ぐ！豊かで成長し続ける農業・農村の確立」を目指し、農政部一丸となって取り組んでおります。

また、農業農村整備につきましては、「群馬県農業農村整備計画2020」に基づき「豊かで成長し続ける安全安心な農業・農村づくり」に向けて、収益性向上を図る生産基盤整備や防災重点ため池の豪雨・地震対策、地域資源を活かした中山間地域の振興などに計画的に取り組んで参ります。

これらの施策を推進していくためには、会員の皆さまと行政等が連携・協働し、一体となって取り組むことが不可欠でありますので、今後とも、力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆さまのご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

令和4年1月



新年のご挨拶

群馬県県土整備部長 清水 昭芳

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

群馬県土地改良事業団体連合会会員の皆様には、平素より県土整備行政、とりわけ農業集落排水事業をはじめとする汚水処理事業の推進に多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本県に甚大な被害をもたらした、令和元年東日本台風による被災箇所の復旧事業については、ようやく完成が見えてきました。これまで、多大なる御尽力を頂いた関係者の皆様には、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、本県の県土整備分野の最上位計画である「ぐんま・県土整備プラン2020」が本格的にスタートした年でありました。今年も引き続き、「災害レジリエンスNo.1の実現」に向けた防災・減災対策など、県土整備プランに位置づけた政策、施策を計画的かつ着実に推進して参ります。

また、県民の暮らしの安全性・利便性の向上や、建設産業の労働環境の改善・生産性の向上に向け、県土整備分野のDX(デジタルトランスフォーメーション)にも、積極的に取り組んで参ります。

農業集落排水施設につきましては、令和3年度に施設の再編・集約や計画的な保全対策に加え、地震や浸水などの災害対策等の強靱化及び維持管理の効率化等を目的とした「農村整備事業」が創設されました。

今後も、関係市町村の持続的な施設の管理運営が可能となるよう、本事業を活用した「維持管理適正化計画」の策定及び本計画に基づく強靱化や施設管理の効率化・適正化に向けた省エネ・管理システムの新技術導入など、高度化への取り組みを促進します。

さらに、汚水処理施設を安定的に維持するためには、広域化・共同化に取り組む必要があり、農業集落排水施設においても、施設の特性や地域の実情を踏まえ、改築・更新整備に併せ、統廃合についても関係市町村と連携し、計画的に進めて参ります。

県土整備プランに掲げる、「災害に強く、安定した経済活動が可能な群馬県」の実現に向けて、県土整備部職員一同チームワークを持って、社会資本の整備と維持管理に、引き続きしっかりと取り組んで参りますので、関係者の皆様におかれましては、県の良きパートナーとして、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員皆様の御健勝と益々の御活躍を祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。



新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 進藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は、群馬県の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。本年も何卒宜しくお願い致します。

私も皆様にご支援をいただき国政に送り出していただいてから、早5年半が過ぎました。土地改良予算の動向を報告し、私なりの政治スタイルを再確認しながら次のステップを展望してみたいと思います。

昨年末には、令和3年度補正予算が臨時国会において可決、成立しました。土地改良予算は、総額1,832億円（TPP等対策：774億円、米対策：46億円、国土強靱化5か年加速化対策：1,012億円）です。令和4年度当初予算政府原案での土地改良予算は4,468億円（令和4年度からデジタル庁計上となる政府情報システム予算を含む。）であり、令和4年度の予算額は補正と当初を合わせて6,300億円となり、本年度と同水準の予算が確保できる見通しとなりました。

主な事業制度の新規・拡充事項としては、①農家負担がゼロの「農地中間管理機構関連農地整備事業」の工種に農業水利施設や農道、暗渠排水等を追加（現在は区画整理と農地造成のみ）、②「農地耕作条件改善事業」の助成対象に田んぼダム導入に係る調整活動や畦畔補強等とともに除草機器を追加、③省エネ化・再エネ利用に取り組む「かんがい排水事業」の事業費要件や末端要件を緩和、④「土地改良施設維持管理適正化事業」に「防災減災機能等強化対策」（防災・減災機能の強化、施設管理の省エネ・再エネ利用や省力化を図るための施設整備）を新設（国費率を従来の30%から50%に嵩上げ）、⑤「土地改良区体制強化事業」の助成対象に小規模土地改良区の業務再編を追加することなどが挙げられます。

私は、これまで全国津々浦々を訪問し、現場の実情を視て、現場の声を聴いて、それらを国政の場に届け、課題解決の実現に努めて参りました。私自身、現場目線、国民目線での政治こそが、いま強く求められていると痛感しています。こうした活動が事業制度の新規・拡充要求に繋がっているものと確信しています。群馬県内にも度々訪問し、色々なご指摘や多くの要請をいただきました。こうした現場の声を真摯にお聴きし、改善できるものはすぐに改善し、事業制度の新規・拡充に繋げる必要があるものは次年度の予算要求に反映できるように更に努力して参ります。

全国各地の農業・農村は多様であり、それ故に各種要請の内容も多様です。引き続き同志の宮崎雅夫議員と力を合わせ、必要な予算の確保とともに、現場の課題解決に直結する制度構築等に全力で取り組んで参ります。今後とも、これまでの政治スタイルとスタンスを変えることなく、泥臭く鈍重でも、急峻な斜面を一步一步踏み締めて前進する牛のように精進し、現場が抱えている課題を一つでも多く解決できるように結果を出して参る所存です。

皆様からお預かりした参議院議員の任期も残すところ7か月余りとなりましたが、まずは貴重な任期を一日たりとも無駄にすることなく政治活動に全力投球して参ります。そして、次のステップに進むためには改選という高く厚い壁を超えなければなりません。私自身、この壁の突破に専心努力して参る覚悟ですので、皆様の引き続きのご指導とご支援を心からお願い申し上げます。皆様の益々のご健勝とご活躍を心からお祈りいたしております。



新年のご挨拶

農林水産大臣政務官
全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 **宮崎 雅夫**

群馬県土地改良事業団体連合会会員ならびに関係の皆様にご挨拶を申し上げます。旧年中は多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

昨年10月発足の岸田内閣ならびに11月の第二次岸田内閣において、農林水産大臣政務官を拝命しました。これも偏に群馬県の皆様と、進藤金日子参議院議員はじめ先輩国会議員のご指導とご支援によるものであり、本年も新たな気持ちで現場主義に徹しつつ皆様のご意見をお伺いしながら一層努力して参る所存ですので、引き続きご指導をお願いいたします。

さて、ここ2年に亘り農林水産業はじめ各方面に影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症は、国民の皆様のご協力により、昨秋以降の新規感染者数は低位に推移していましたが、新たな変異株による感染が再び全国に広がる懸念される昨今の状況からは決して油断することはできません。

経済安全保障の重要性が叫ばれる中、食料の多くを輸入に頼る我が国にとって食料安全保障の確立は重要であり、そのためには我が国の農林水産業の持続的発展が不可欠です。

こうした中、昨年末には、令和4年度当初予算案が閣議決定され、また、臨時国会で令和3年度第1次補正予算が成立し、農業農村整備事業関連予算として総額6,300億円を確保することができました。

令和4年度当初予算案では、前年度当初を上回る4,468億円を確保し、農地の大区画化、水利施設の老朽化対策等を推進することとしています。また、令和3年度補正予算では、TPP対策や防災・減災、国土強靱化の加速化対策として1,832億円が計上されており、全国の皆様のご要望にしっかりと応えできる規模となっています。

また、これから国会で議論される令和4年度当初予算案に関連して、土地改良法の改正案を検討することとしており、主な事項としては、ため池等の急施の防災事業に豪雨対策を加えること、農地中間管理機構関連農地整備事業の対象に農業用水路等を加えること、市町村や土地改良区が実施する防災対策事業への土地改良事業団体連合会による技術的支援等を可能とすること、また、組織の維持が困難となった小規模土地改良区について、法人格を維持しながら認可地縁団体等に移行できる規定を設けることなどが予定されています。予算と制度が車の両輪となって土地改良の効果がしっかりと発現できるよう、引き続き進藤金日子議員とともに頑張って参る所存です。

これからも皆様とともに土地改良を推進するため、進藤金日子議員と一緒に国政で取り組んで行けるよう、群馬県の皆様の格段のご支援をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様お一人おひとりとご家族にとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。

令和3年度「臨時理事会」

令和3年5月25日(火)、前橋商工会議所会館において臨時理事会を開催しました。

はじめに、熊川会長から挨拶をいただき、議事に入りました。

理事会は、理事8名、監事2名の出席のもと行われ、提出議案は原案のとおり議決されました。



◆議 事◆

第1号 第43回全国土地改良大会群馬大会について

令和3年度「第1回理事会」



◆議 事◆

- 議案第1号 令和2年度事業報告の承認について
- 議案第2号 令和2年度貸借対照表、正味財産増減計算書、収支決算書の承認について
- 議案第3号 令和2年度財産目録の承認について
- 議案第4号 令和3年度（第1回）収入支出補正予算について

令和3年7月21日(水)、前橋商工会議所会館において第1回理事会を開催しました。

熊川会長の挨拶に続き、来賓として出席された群馬県農政部農村整備課 松井課長から挨拶をいただき、議事に入りました。

理事会は、理事9名、監事2名の出席のもと行われ、議案はすべて原案のとおり議決されました。

令和3年度「第2回理事会」

令和3年11月22日(月)、前橋テルサ「つつじの間」において第2回理事会を開催しました。

熊川会長の挨拶に続き、来賓として出席された群馬県農政部農村整備課 松井課長から挨拶をいただきました。

理事会は、理事10名、監事3名の出席のもと行われ、提出議案は、原案のとおり議決されました。



◆議 事◆

- 議案第1号 令和3年度（第2回）収入支出補正予算について
- 議案第2号 群馬県土地改良事業団体連合会 支部長・副支部長の委嘱について

令和3年度「第1回監事会及び監査」

令和3年6月25日(金)、本会において、令和3年度「第1回監事会及び監査」を開催しました。

監査では、若田部代表監事から「調査・確認、協議をした結果、諸帳簿など特に問題はなく、概ね良好と認め、業務執行にあたっては、今後とも細心の注意を払うとともに、会員からの信頼のおける連合会であってほしい」との監査結果報告がありました。



◆議 事◆

- 第1号 本会理事職にある会員との契約等に関する代表者について
- 第2号 監査の実施計画について
- 第3号 監査結果の処理方法について
- 第4号 その他監事が必要と認めた事項について

◆監査事項◆

- (1) 令和2年度業務に関する事項について
- (2) 令和2年度会計経理に関する事項について

令和3年度「第2回監事会及び監査」

令和3年12月22日(水)、本会において、令和3年度「第2回監事会及び監査」を開催しました。

監査では、若田部代表監事から「調査・確認、協議をした結果、諸帳簿など特に問題はなく、概ね良好と認め、業務執行にあたっては、今後とも細心の注意を払うとともに、会員からの信頼のおける連合会であってほしい」との監査結果報告がありました。



◆議 事◆

- 第1号 監査の実施計画について
- 第2号 監査結果の処理方法について
- 第3号 その他監事が必要と認めた事項について

◆監査事項◆

- (1) 令和3年度業務に関する事項について
- (2) 令和3年度会計経理に関する事項について

群馬県土地改良施設管理運営体制強化委員会

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、三密を避けるため書面議決での委員会を開催し、令和3年7月2日付にて議決されました。

本委員会は土地改良区体制強化事業（施設・財務管理強化対策）に基づき設置され、土地改良施設の円滑かつ、適正な管理及び事業運営の透明化やガバナンスの強化を図ることを目的としています。

◆協議事項◆

- (1) 令和2年度土地改良区体制強化事業（施設・財務管理強化対策）業務実施報告について
- (2) 令和3年度土地改良区体制強化事業（施設・財務管理強化対策）業務実施計画について

群馬県受益農地管理強化委員会

令和3年度の受益農地管理強化委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度同様、書面によって行いました。

本委員会は土地改良区体制強化事業（受益農地管理強化対策）に基づき設置され、群馬県における換地業務の実施に伴い、円滑かつ適正な換地処分を図ることを目的としています。

各委員あてに関係資料を送付し、協議案件について確認していただいたうえで、令和3年7月2日付で承認されました。

◆協議事項◆

- (1) 令和2年度事業実施報告について
- (2) 令和3年度事業実施計画について

令和3年度 換地等技術向上研修



令和3年7月26日(月)～7月27日(火)、前橋テルサにおいて、市町村、土地改良区等の職員26名が出席し、新型コロナウイルス感染対策に留意し「令和3年度換地等技術向上研修」が開催されました。

参加者は新規担当者が多数を占め、土地改良法や換地理論等、専門的知識の研修を受けました。実務研修では、モデル地区の計画図に換地を割り込む換地選定作業を行い、換地計画書作成実務では、換地清算金を算出するなど、実際の換地計画書の作成に取り組んでいました。

1日目

研修内容	講師
換地のあらまし	調査・換地課 課長 吉澤 茂
基礎調査	調査・換地課 チーフ係長 佐野 明史
土地改良制度の概要 換地理論	関東農政局農村振興部 土地改良管理課 土地改良指導官 福田 芳雄 様

2日目

研修内容	講師
換地設計基準 土地評価基準	調査・換地課 技術指導監 櫻井 克弘
換地選定実務	調査・換地課 技術指導監 内山 剛直
確定測量	調査・換地課 補佐 阿久澤憲史
換地計画書作成実務	調査・換地課 技術指導監 丸橋 昇

利根川水系農業水利協議会 群馬県支部委員会 及び第23回通常総会

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、三密を避けるため書面議決での委員会を開催し、令和3年8月6日付にて議決されました。

本会は、利根川水系における農業用水の確保及び渇水の対策など、農業水利に関わる諸問題を検討・協議するとともに、地域農業者の利益と福祉の増進を図り、もって農業の発展に寄与することを目的としています。

◆議 事◆

- 第1号議案 令和2年度事業報告の承認について
- 第2号議案 令和2年度収入支出決算の承認について
- 第3号議案 令和3年度事業計画(案)について
- 第4号議案 令和3年度会費及び徴収方法(案)について
- 第5号議案 令和3年度収入支出予算(案)について

群馬県農業集落排水事業連絡協議会 第31回通常総会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、今年度の通常総会は、書面による開催とし、令和3年7月5日(月)に行われ、全議案について22会員全員の賛成が得られました。

また、例年通常総会終了後に開催しています研修会は、今年度は中止することとなりました。

◆議 事◆

- 第1号議案 令和2年度事業報告の承認について
- 第2号議案 令和2年度決算報告の承認について
- 第3号議案 令和3年度事業計画(案)について
- 第4号議案 会費の負担基準及び納入方法(案)について
- 第5号議案 令和3年度収入支出予算(案)について
- 第6号議案 役員改選(案)について

群馬県農業集落排水事業に関する絵画コンクール審査会



令和3年11月11日(木)、本会において、農業集落排水事業に関する絵画コンクールの審査会が行われました。

広報活動の一環として、農村地域の環境保全と農業集落排水事業の啓発・普及を目的に農村地域における「水と緑を取り巻く環境」を題材に、絵画コンクールを実施しました。

応募作品150点の中から、最優秀賞(群馬県知事賞)、上毛新聞社賞、群馬テレビ賞、エフエ

ム群馬賞、連合会長賞、協議会長賞の6作品及び、優秀賞6作品並びに佳作14作品を選定しました。

なお、例年実施しています表彰式については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止となりました。



☆最優秀賞【群馬県知事賞】

「煙を見回る白サギ」

吉岡町立駒寄小学校6年 青木 光さん

群馬県水土里情報利活用推進協議会 第3回通常総会

群馬県水土里情報利活用推進協議会の「第3回通常総会」は、令和3年8月20日(金)、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として書面議決により開催されました。前日までの書面議決書の提出(出席者)が会員総数の過半数に達したため、規約第13条に基づき総会は成立し、提出された議案は、全議決書の賛成により全て可決されました。

◆議 事◆

- 第1号議案 令和2年度事業報告及び収支決算の承認について
- 第2号議案 令和3年度事業計画及び収支予算(案)について
- 第3号議案 役員の改選について

令和3年度 多面的機能支払交付金研修会【事務・安全・技術】

令和3年12月1日(水)、「群馬会館ホール」において、令和3年度多面的機能支払交付金研修会【事務・安全・技術】が開催されました。開会にあたり、群馬県農政部農村整備課福島水利保全対策主監から挨拶がありました。研修会は下記のとおり行われ、活動組織や県・市町村の担当者185名が参加し、熱心に耳を傾けていました。



研修内容	説明者等
事務研修会 ①令和3年度事業制度改正について ②事務書類作成について	①群馬県農政部農村整備課 齋田主任 ②群馬県水土里保全協議会 中川係長
安全研修会 刈払機安全作業動画の視聴	群馬県農政部農村整備課 齋田主任
技術研修会 機能診断と簡易補修について	群馬県水土里保全協議会 中川係長
その他 ①農地中間管理事業について ②田んぼダムについて	①群馬県農業公社 阿部係長 ②群馬県農政部農村整備課 齋田主任

農業農村整備の集い

令和3年11月16日(火)、東京都千代田区「シェーンバッハ・サボー」において、「農業農村整備の集い」―農を守り、地方を創る予算の確保に向けて―が、全国水土里ネット、都道府県水土里ネットの共催により開催されました。

集いは、全国の土地改良区並びに市町村、都道府県水土里ネットから約500名の参加があり、本県から9名が参加しました。

開会にあたり、全国水土里ネット 二階会長から挨拶があり、土地改良における男女共同参画を先駆的に実践した、山口水土里ネット女性の会元会長 藤井チエ子様（故人）と日本のひなた水土里ネット女子会会長 奥村千扶子様の2名に感謝状が贈呈されました。

続いて、金子農林水産大臣、石井公明党幹事長、森山自民党TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、都道府県水土里ネット会長会議 進藤顧問から挨拶があり、水土里ネット沖縄の古謝会長より要請書案が読み上げられ、満場一致で採択されました。

来場の国会議員、農林水産省農村振興局幹部のご紹介後、あいち水土里ネット女性の会 加藤会長による「ガンバロウ三唱」で閉会しました。

また、本県参加者は集い開催に併せ、本県選出国会議員に要請活動を行いました。



全国水土里ネット 二階会長 挨拶



ガンバロウ三唱に拍手する参加者



宮崎農林水産大臣政務官への要請
(同行 井野衆議院議員)



自民党福田総務会長への要請
(同行 井野衆議院議員)

令和4年度 群馬県当初予算に対する政調懇談会及び県への要望活動

令和4年度の群馬県当初予算編成にあたり、令和3年8月31日(火)、群馬県当初予算に対する政調懇談会が開催されました。

本会から熊川会長、齋藤副会長をはじめ、各地域の土地改良事業推進協議会関係者、本会役職員が出席し、農業農村整備事業の推進への理解とより一層の支援を要望しました。

その後、群馬県 角田農政部長並びに清水県土整備部長等に対して、要望事項を説明し、要望書を手渡しました。

政調懇談会(環境農林部会)への要望事項

○ 農業農村整備事業等について

- 1 農業生産力強化に向けた農業基盤整備の推進について
- 2 農業水利施設の保全と管理に対する支援について
- 3 ため池の防災、減災対策の推進について
- 4 日本型直接支払交付金の活動推進について
- 5 再生可能エネルギーの推進について

6 県単公共事業の推進について

7 国土調査の推進について

8 農地中間管理事業への参画について

政調懇談会(産経土木部会)への要望事項

- 1 改築・更新事業の計画的・継続的な実施について
- 2 既存施設の更新計画策定等について



角田農政部長への要望



清水県土整備部長への要望

令和3年度 複式簿記導入促進特別研修会

令和3年12月16日(木)、前橋テルサ「けやきの間」において、「令和3年度 複式簿記導入促進特別研修会」が開催されました。

開会にあたり本会村上常務理事から挨拶があり、研修に移りました。

本研修会は、土地改良区体制強化事業により、全国土地改良事業団体連合会主催のもと開催され、土地改良区及び県職員、68名が参加し、熱心に耳を傾けていました。

研 修 内 容	講 師
複式簿記会計移行後の決算関係書類	群馬県土地改良事業団体連合会 総務課 岡 聡史
会計細則等の見直し等	全国土地改良事業団体連合会 支援部 野崎 敬 様
財務諸表等の作成手順	全国土地改良事業団体連合会 支援部 田中 克哉 様
複式簿記会計開始に向けた最終チェック	群馬県土地改良事業団体連合会 総務課 岡 聡史



令和3年度 土地改良区等役職員研修会

令和3年11月30日(火)、群馬県JAビル「大ホール」において、農業農村整備の円滑な推進と土地改良区の運営管理を行う役職員の技術向上を図ることを目的とした「令和3年度 土地改良区等役職員研修会」を開催しました。

熊川会長による開会の挨拶に続き、群馬県農政部農村整備課 松井課長から挨拶をいただき、参議院議員で農林水産大臣政務官の全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎雅夫様よりビデオメッセージによる挨拶をいただきました。

研修は、下記の通り行われ、最後の研修では全国水土里ネット会長会議顧問で参議院議員の進藤金日子様より講義をいただき、135名の参加者は、熱心に受講されました。



研修科目	講 師
第43回全国土地改良大会群馬大会 結果報告	群馬県土地改良事業団体連合会 参事 片山 茂
土地改良区をめぐる情勢について	関東農政局農村振興部土地改良管理課 課長補佐 前川 英樹 様
ちょんき嫁が行く ～農業と地域振興～	妻のてしごと 代表 松本もとみ 様
ICT自動給水栓導入に向けた取組について 田んぼダムについて	群馬県農政部農村整備課 計画評価係主幹 釧持 恵一 様 施設保全係主任 齋田 圭太 様
最近の農政をめぐる情勢と今後の展開方向	全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子 様

いただいた質問と回答

【ICT自動給水栓導入に向けた取組について】

Q：金額について説明を聞きたい。採算はどれくらいで（何アール）とれるのか？

A：①導入金額について（1台当たり、カタログ単価「R3.7」）

- ・通信中継機（増設含む）440,000円・給水栓一式（初期設定含む）181,500円
- ・その他 アタッチメント、取り付け工事費、システム使用料が必要。

②採算のとれる面積は、ほ場までの距離など諸条件（地区の営農状況や設置戸数等）によって変わりますが、令和2年及び3年の実証試験結果では、水管理に要する作業時間がそれぞれ66%（ほ場まで往復15分）、56%（ほ場まで往復10分）節減するという結果となりました。

なお、給水栓の設置戸数は、地域の利水状況等のほ場条件によっても異なるため、単純に採算（収支）を算出することは難しいです。

〔参考〕

- ・メーカーに確認した関東管内他県の事例では、導入実績は、2反5畝～3反区画、大きいところで1町歩の区画で導入したところもあるとのこと。

Q：事業で設置したい場合に、土地改良区が事業主体として行えるのか？

A：事業によっては、土地改良区が事業主体になれるものもあります。

（例）農業水路等長寿命化・防災減災事業、農地耕作条件改善事業

◎要望等ありましたら、各農業事務所（農村整備課・農村整備センター）へ相談してください。

今後の予定

開催日	主催者名	行事名	開催場所
2月15日	本会	第3回理事会	群馬県JAビル（前橋市）
3月23日	本会	第65回通常総会並びに 第56回土地改良功労者等表彰式	群馬県JAビル（前橋市）
3月24日	全国土地改良事業団体連合会	第64回通常総会 全国水土里ネット表彰式	東京都

謹賀新年

会長理事	熊川 栄	理事	石川 徹	副会長理事	山本 龍	理事	後閑千代壽	副会長理事	齋藤佐太夫	理事	星野 好孝	常務理事	村上行正	代表監事	若田部 満	理事	茂原 莊一	監事	荒山江知郎	理事	木村 實	監事	畑村 繁	理事	横山 公一	参事	片山 茂	理事	大山 善弘	事務局長	竹田 祐之	理事	高木 勉	外職員一同		理事	堤 盛吉		
------	------	----	------	-------	------	----	-------	-------	-------	----	-------	------	------	------	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	------	----	-------	----	------	----	-------	------	-------	----	------	-------	--	----	------	--	--



夢ふくらまそう・未来はぐくもう
ぐんまの農業農村整備



群馬県土地改良事業団体連合会ホームページ
URL: <http://www.kakasi.or.jp/>

水土里ネット 群馬

本 所 〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4
TEL 027-251-4105 fax 027-251-4139

中西部事業所 〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4
TEL 027-251-4106 fax 027-251-4222

利根・吾妻事業所 〒378-0031 群馬県沼田市薄根町3507-1
TEL 0278-23-2161 fax 0278-23-2180

東 部 事 業 所 〒370-0392 群馬県太田市新田金井町29
(新田庁舎内)
TEL 0276-55-6185 fax 0276-55-6186